

2011年04月03日 中国山地 和気アルプス 単独行

コース距離: 11.5 km、 所要時間: 5時間54分(休憩含む)、 標高差: 341m

コースタイム

鵜飼谷温泉 8:02 8:30 ゴンゲン岩 8:55 和気富士 9:15 観音山 9:53 穂高山 10:07 竜王山
 11:17 鷲ノ巣岩 11:40 神ノ上山 12:31 12:43 剣峰 12:49 ザイテングラード 13:10
 13:23 登山口 13:40 13:57 鵜飼谷温泉

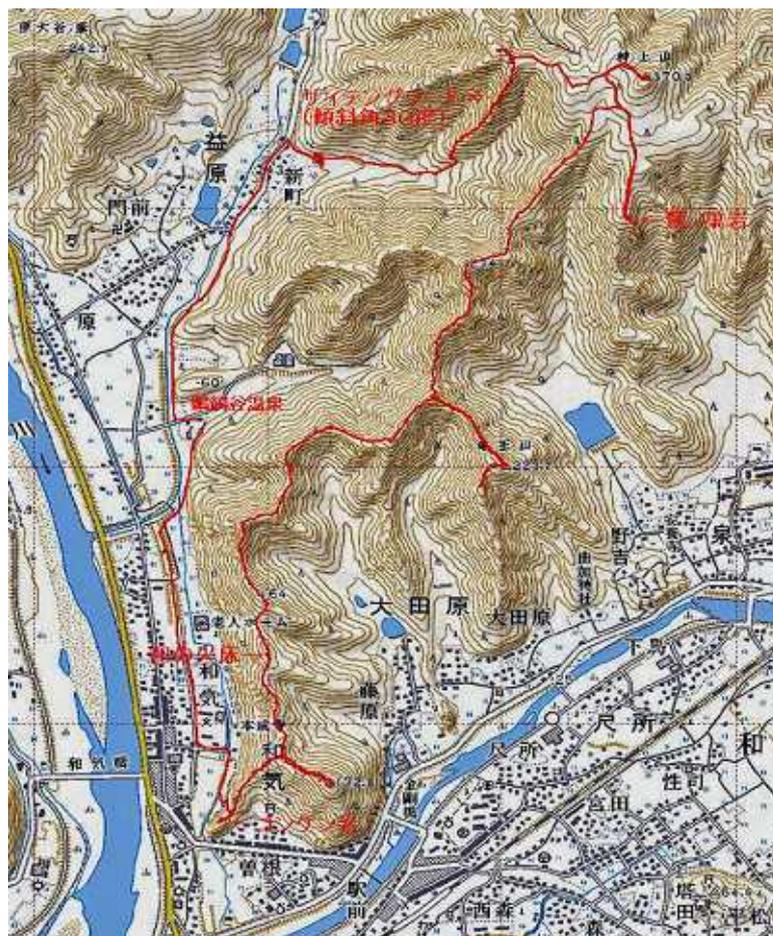
場所の名称	時刻	標高	標高校正
鵜飼谷温泉	8:02	30	29
登山口	8:24	38	34
ゴンゲン岩	8:30	78	61
和気富士(城山)	8:55	179	172.8
観音山(和の火床)	9:15	144	139
穂高山	9:53	209	200
竜王山分岐	9:56	219	211
竜王山	10:07	226	223.2
小竜王山	10:12	215	200
竜王山分岐	10:26	217	211

場所の名称	時刻	標高	標高校正
274m地点	10:49	278	274
鷲ノ巣岩(白岩様)	11:17	257	255
神ノ上山	11:40	372	370.3
	12:31		
剣峰	12:43	342	331
ザイテングラード を下降する	12:49	328	321
	13:10	143	115
登山口(休憩)	13:23	60	58
	13:40		
鵜飼谷温泉	13:57	51	29

* 行程グラフ



* 山行軌跡



* アクセス

自宅を5時過ぎに出て茨木インターより高速道に乗り、名神・中国道・山陽道で和気インターで高速を降りて一般道で鵜飼谷温泉の駐車場に7時40分頃に到着。
帰りは日生に立ち寄りカキオコと牡蠣フライを食べる(牡蠣は生を使用するのは今週で終わるようです)
赤穂インターより高速に乗り茨木インターまで途中、神戸JCT手前より渋滞が宝塚トンネルまで続く
自宅に帰りついたのは21時を回ってしまった。

* 山行記

8時2分に鵜飼谷温泉の駐車場を立ち登山口へ、最初は先端部のゴンゲン岩に
8時30分到着遮るものがないので低くても見晴らしは最高でした。

(写真) 登山口よりゴンゲン岩

ゴンゲン岩より



引き返して和気富士を目指す、8時55分山頂に到着、山頂からは見晴らしは出来な
いが少し下った所からは南側が展望できる、この山頂は昔山城があったと案内標識
が有るゴンゲン岩も眼下見える。

(写真) 和気富士山頂の山城案内標識

ゴンゲン岩を見下ろす



また来た道を引き返し縦走路に、
観音山で【和】の山焼きの火床
を確認するが字角状態は確認で
きなかった。

(写真) 縦走路より
観音山



観音山を後に先へ進む、露出した岩の上を歩くところもあるそこを超えると双児穂の竜王山がきれいに見ることができる、表示板を見落としたのか家に帰り着いてから確認するとここが穂高山であった。

(写真 右)穂高山頂の岩場



(写真) 双児穂の竜王山

(写真) 竜王山側から穂高山を望む

穂高山を通り過ぎ9時56分竜王山の分岐に辿り着いた。

竜王山に向う、竜王山頂に祠がある周りは木々で展望は出来ない。

小竜王山を往復するし10時26分分岐に帰着く。



(写真) 竜王山分岐より神ノ上山方面

神ノ上山を目指して進む途中鷲ノ巣岩へ立ち寄ることにした、先へ進み下りが始まってから少し進むと前方の視界が開けて展望できるところに出たこの岩場が鷲ノ巣岩と思われる。

(写真)鷲ノ巣岩より竜王山方面

来た道を引き返し11時40分に神ノ上山に到着、展望が出来る場所と案内に書かれていたが周りを木々で視界はなかった。



山頂には大勢の人がいた、私の歩いてきたコース以外で来られた様子である、腹こしらえをしながら休息する。

(写真) 神ノ上山三角点



12時31分神ノ上山を後に剣峰へ向かって出発する。

10分程で剣峰に到着する。

剣峰は岩山で先端は鋭く切れ落ちている、霞がなければ瀬戸内の島々が見ることが出来るようだ。

(写真) 剣峰より



剣峰山頂には神ノ上山で出会った人達が多数いた、写真を撮って早々に引き返す。

少し引き返すとザイテングラードへ下る脇道があるそこを進むとすぐに視界が開け急勾配の下りが始まる。

(写真右)ザイテングラード始まり

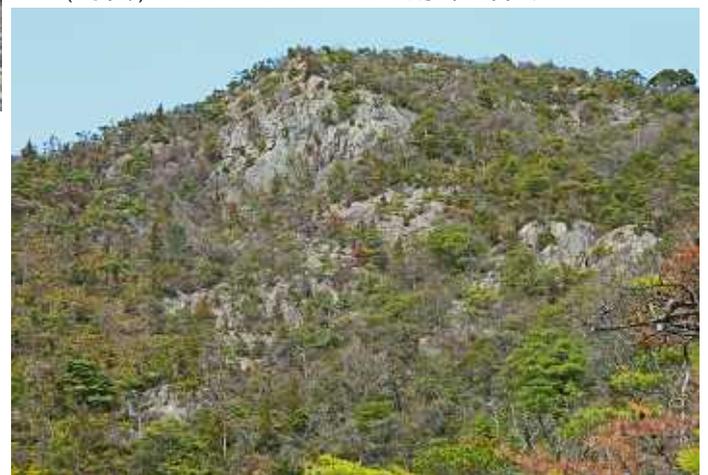
(写真下)ザイテングラードをトラバース



(写真)ザイテングラードより剣峰を仰ぐ

斜度30度とガイド書に載っていたが実際は(距離300m、高低差185m)を下るが、下る先が見通せないきつい段差がある所を下ることになる。

ザイテングラードに要した経過時間は21分間であった。



ザイテングラードを過ぎると道も広くなり一般道に出会うところを開けた場所があったのでコーヒータムで休息して13時57分鵜飼谷温泉に帰り着く。